



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月9日

上場会社名 エスケー化研株式会社
コード番号 4628 URL <https://www.sk-kaken.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 実広
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 竹内 正博
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 072-621-7720

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	77,872	7.9	9,572	26.1	12,425	25.3	8,784	27.8
2023年3月期第3四半期	72,165	6.9	7,590	8.4	9,919	6.6	6,875	7.5

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 10,266百万円 (9.8%) 2023年3月期第3四半期 9,349百万円 (24.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	651.61	
2023年3月期第3四半期	509.97	

2023年7月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	179,143	150,155	83.8
2023年3月期	169,043	140,967	83.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 150,155百万円 2023年3月期 140,967百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		400.00	400.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2023年3月期期末配当金の内訳 普通配当 100円00銭 特別配当 300円00銭

2024年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当 20円00銭 特別配当 60円00銭

2023年7月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2023年3月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	4.6	10,200	2.6	11,100	13.3	7,800	13.7	578.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2023年7月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2024年3月期の連結業績予想における「1株当たり当期純利益」については、当該株式分割の影響を考慮しております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	15,673,885 株	2023年3月期	15,673,885 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	2,192,425 株	2023年3月期	2,192,345 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	13,481,504 株	2023年3月期3Q	13,481,540 株

2023年7月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7
(収益認識関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による経済活動の制限が緩和され、景気は緩やかに持ち直しの動きが見られました。しかしながら、国際情勢に起因する資源価格の高騰や物価の上昇に加え、世界的な金融引き締め等が続く中で、中国経済の減速など海外景気の下振れが国内景気に影響を及ぼすことが懸念され、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

建築塗料業界におきましては、都市部や首都圏を中心とした大規模再開発案件の需要や物流施設・公共物件が堅調に推移致しました。一方、戸建住宅等はインフレの影響を受け、消費者マインドにブレーキがかかりました。また、慢性的な人材不足は続いており、現場技術者及び現場作業員の確保と育成が大きな課題であり、建築費・人件費の高騰、人材の高齢化等厳しい市場環境にあります。

このような状況下、当社グループは、販売価格の見直しを行い、経費削減に努めるとともに、引き続き新築市場だけではなく膨大なストックを有するリニューアル市場において、当社の技術革新による製品、超耐久・超低汚染塗料、地球温暖化現象に対応した省エネタイプの遮熱塗料、新型省力化建材、オリジナルの高意匠性塗材や耐火被覆材・断熱材等の拡販に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は、778億72百万円（前年同四半期比7.9%増）となりました。利益面におきましては、原材料の高騰を受けて製品価格の値上げを行い、営業利益は、95億72百万円（同26.1%増）となり、経常利益は、為替変動の影響等により124億25百万円（同25.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、87億84百万円（同27.8%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①建築仕上塗材事業

建築仕上塗材事業におきましては、特にリニューアル市場において超耐久性塗料や超低汚染機能で差別化した省エネタイプの遮熱塗料等の販売を行ない、売上高は689億14百万円（同5.6%増）と前年同四半期に比べて36億66百万円の増収となりました。セグメント利益は103億12百万円（同20.6%増）と前年同四半期に比べて17億62百万円の増益となりました。

②耐火断熱材事業

耐火断熱材事業におきましては、都市部の再開発事業における受注は続いており、売上高は72億83百万円（同39.5%増）と前年同四半期に比べて20億64百万円の増収となりました。セグメント利益は、11億2百万円（同78.8%増）と前年同四半期に比べて4億85百万円の増益となりました。

③その他の事業

その他の事業におきましては、売上高は16億75百万円（同1.4%減）と前年同四半期に比べて23百万円の減収となりました。セグメント利益は92百万円（同24.2%増）と前年同四半期に比べて17百万円の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べて101億円増加し、1,791億43百万円（前連結会計年度末比6.0%増）となりました。

増加した主なものは、長期預金49億84百万円（同33.1%増）、現金及び預金16億13百万円（同1.6%増）、受取手形及び売掛金10億67百万円（同6.0%増）、電子記録債権10億61百万円（同37.0%増）、原材料及び貯蔵品6億7百万円（同14.5%増）であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて9億12百万円増加し、289億88百万円（同3.3%増）となりました。

増加した主なものは、支払手形及び買掛金7億66百万円（同8.0%増）であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて91億87百万円増加し、1,501億55百万円（同6.5%増）となりました。

増加した主なものは、親会社株主に帰属する四半期純利益を含む利益剰余金77億6百万円（同5.4%増）、為替換算調整勘定14億95百万円（同51.9%増）であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、2023年5月12日に公表しました2024年3月期の連結業績予想通期に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	99,495	101,108
受取手形及び売掛金	17,903	18,971
電子記録債権	2,865	3,927
商品及び製品	1,995	2,016
仕掛品	1,365	1,280
未成工事支出金	185	410
原材料及び貯蔵品	4,188	4,796
その他	909	1,128
貸倒引当金	△13	△17
流動資産合計	128,894	133,621
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,505	3,689
機械装置及び運搬具（純額）	175	263
土地	8,253	8,284
建設仮勘定	139	86
その他（純額）	845	894
有形固定資産合計	12,919	13,218
無形固定資産		
無形固定資産	779	850
投資その他の資産		
投資有価証券	7,616	7,619
繰延税金資産	64	72
長期預金	15,068	20,053
退職給付に係る資産	1,479	1,505
その他	2,356	2,353
貸倒引当金	△135	△151
投資その他の資産合計	26,449	31,453
固定資産合計	40,148	45,522
資産合計	169,043	179,143

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,557	10,324
短期借入金	3,000	3,000
未払金	5,937	6,215
未払法人税等	2,040	1,552
賞与引当金	1,526	1,351
役員賞与引当金	92	69
製品保証引当金	109	83
その他	1,838	2,262
流動負債合計	24,102	24,858
固定負債		
繰延税金負債	37	65
役員退職慰労引当金	1,253	1,277
退職給付に係る負債	146	153
その他	2,535	2,633
固定負債合計	3,973	4,129
負債合計	28,075	28,988
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,662	2,662
資本剰余金	3,137	3,137
利益剰余金	141,696	149,402
自己株式	△9,518	△9,518
株主資本合計	137,977	145,683
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3	6
為替換算調整勘定	2,881	4,377
退職給付に係る調整累計額	104	88
その他の包括利益累計額合計	2,989	4,472
純資産合計	140,967	150,155
負債純資産合計	169,043	179,143

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	72,165	77,872
売上原価	51,566	54,171
売上総利益	20,599	23,701
販売費及び一般管理費	13,008	14,128
営業利益	7,590	9,572
営業外収益		
受取利息	356	1,166
受取配当金	0	0
仕入割引	35	33
為替差益	1,809	1,578
雑収入	156	106
営業外収益合計	2,357	2,885
営業外費用		
支払利息	22	23
雑損失	5	9
営業外費用合計	28	32
経常利益	9,919	12,425
税金等調整前四半期純利益	9,919	12,425
法人税、住民税及び事業税	2,790	3,612
法人税等調整額	254	28
法人税等合計	3,044	3,640
四半期純利益	6,875	8,784
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,875	8,784

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	6,875	8,784
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	3
為替換算調整勘定	2,477	1,495
退職給付に係る調整額	△5	△16
その他の包括利益合計	2,474	1,482
四半期包括利益	9,349	10,266
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,349	10,266
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建築仕上 塗材	耐火 断熱材	計				
売上高							
日本	55,237	5,154	60,392	1,698	62,091	—	62,091
アジア	10,009	64	10,074	0	10,074	—	10,074
顧客との契約から生 じる収益	65,247	5,218	70,466	1,699	72,165	—	72,165
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	65,247	5,218	70,466	1,699	72,165	—	72,165
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	0	1	1	△1	—
計	65,247	5,218	70,466	1,700	72,167	△1	72,165
セグメント利益	8,550	616	9,166	74	9,240	△1,650	7,590

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種化成品、洗浄剤等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,652百万円、セグメント間取引消去1百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建築仕上 塗材	耐火 断熱材	計				
売上高							
日本	57,264	7,256	64,520	1,675	66,195	—	66,195
アジア	11,649	26	11,676	0	11,676	—	11,676
顧客との契約から生 じる収益	68,914	7,283	76,197	1,675	77,872	—	77,872
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	68,914	7,283	76,197	1,675	77,872	—	77,872
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	0	1	2	△2	—
計	68,914	7,283	76,197	1,676	77,874	△2	77,872
セグメント利益	10,312	1,102	11,414	92	11,506	△1,933	9,572

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種化成品、洗浄剤等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,935百万円、セグメント間取引消去2百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報）」に記載のとおりであります。